

ヨコハマ3R夢

生ごみの減量作戦(水切り・土壌混合法)

各イベントで、水入り風船を使用した実演を交えながら、生ごみの水切りの協力のお願いや、マンションのベランダ等で生ごみを土にかえず土壌混合法の紹介を行いました。

水が入った風船を水分の切れていない生ゴミの袋に見立て、ライターの日を近づけても、水入り風船は燃えることなく割れません。この実験から分かることは、生ごみの水切りをする事により、ごみ焼却工場での焼却効率が上がり、温暖化の原因になる温室効果ガスの削減になるということです。



「ヨコハマ3R夢」マスコットイーオ



3R夢説明会(太尾地区)での水入り風船実験

また、プランターなどを利用して簡単に取組める「土壌混合法」を紹介。生ごみを土に埋める事で土の中の微生物で生ごみを分解し、土にかえます。



ヨネヤマプランテーションでの説明会



区役所での説明会

港北エコアクション

STOP温暖化!

私たちが取り組む『港北エコアクション』

ごみの減量の取組と脱温暖化の取組を一体的に進めていくため、既存の「快適空間・港北」G30推進本部会議と港北区地球温暖化対策推進協議会を統合整理し、新たに、区民・行政・活動団体・事業者の皆様と構成する、『港北エコアクション推進本部』を平成23年度に設立しました。

港北エコアクション推進本部では、「省エネルギーの推進」、「みどりアップの推進」、「ヨコハマ3R夢プランの推進」の3つの柱を中心として活動していきます。

港北 ECO ACTION

推進イメージ

取組方針

STOP 温暖化！私たちが取り組む『港北エコアクション』

港北エコアクション推進本部

行政 学校 自治会 企業 関係団体

情報の共有

具体的な取組の検討

3つの柱
ヨコハマ 3R夢プランの推進 みどりアップの推進 省エネルギーの推進



具体的な取組

- 3Rの推進
- 生ごみリサイクルの推進
- マイバッグ・マイボトルの促進
- 事業系ごみの分別啓発・適正処理

- 緑化・花植えの推進
- 樹林地の保全
- 緑のカーテン
- 地産地消の推進
- 生物多様性の保全

- 節電・節水・節ガス
- 環境家計簿
- エコドライブ
- 省エネ家電への切替
- グリーン購入

中心的な役割

環境事業推進委員 (3Rサポーター)

よこはま緑の推進団体 市民の森愛護会

消費生活推進員

フォローアップ

- 港北区役所
- 港北土木事務所
- 資源循環局港北事務所

普及・啓発

- 構成団体との連携イベント
- 広報媒体の活用 等

区民・事業者によるエコアクション(環境行動)の実践

港北エコアクション通信

Let's enjoy KOHOKU eco life!

発行：港北エコアクション推進本部事務局 | 港北区区政推進課企画調整係 | 港北区地域振興課資源化推進担当
Tel.045-540-2229 Fax. 045-540-2209
Tel.045-540-2244 Fax. 045-540-2245



港北 ECO ACTION

港北水と緑の学校

主催:港北区役所 運営:NPO法人鶴見川流域ネットワーク※ 協力:区内小学校・日産スタジアムほか

港北区では、子どもたちに鶴見川を中心とした地域の豊かな自然環境についてもっと知ってもらい、地域に愛着をもってもらうために、小学生を対象とした体験型の環境学習を実施しています。

「港北水と緑の学校」では小学校ごとに参加する「環境学習講座」のほか、親子で参加できる「地域交流会」、またこれらの活動を報告する「展示会」を行っています。

年々参加校が増えている環境学習講座

事業開始から8年目を迎えています。年々参加を希望する学校が増えており、今年度は区内25校中16校の小学校が参加しています。

(9/21時点実施および予定)

平成24年度参加校	高田東小 (6/28, 5年生)	駒林小 (9/25, 4年生)
	大曽根小 (7/6, 3年生)	矢上小 (9/26, 4年生)
	新吉田小 (7/9, 3年生)	師岡小 (10/1, 5年生)
	新羽小 (7/11, 5年生)	新吉田第二小 (10/3, 3年生)
	小机小 (7/19, 4年生)	日吉南小 (10/12, 5年生)
	太尾小 (8/29, 4年生)	篠原小 (10/13, 環境委員会・飼育委員会)
	北綱島小 (9/12, 5年生)	大綱小 (10/17, 5年生)
	綱島小 (9/13, 3年生)	篠原西小 (10/29, 3年生)

※「港北水と緑の学校」を運営しているNPO法人鶴見川流域ネットワークは、環境省の平成24年度地域環境保全功労者として表彰されました。地域環境保全功労者表彰は、地域環境保全の推進のため、多年にわたり顕著な功績のあった者・団体を表彰するものです。

地域交流会「夕暮れウォーク&夜の生きもの探検」

親子でも参加できる企画として人気のある地域交流会ですが、24年度は初の試みとして夕方に実施しました。30名以上の親子が参加し、鶴見川の川辺を散歩しながら、投網の実演や生きもの観察を行いました。日がすっかり暮れた時間には新横浜公園の中に仕掛けたトラップ(果物を樹につるしておきました)を見に行き、カブトムシなどの昆虫を見つけました。夕方から夜にかけての川辺の景色は時間ごとに違う魅力を見せ、とても美しく、子どもたちも笑顔で交流会を終えることができました。



国際会議で「港北水と緑の学校」を紹介

昨年「第11回川に学ぶ体験活動全国大会in鶴見川流域」で「港北水と緑の学校」を横浜市の事例として紹介しましたが、今年は海外の国際会議でも事例として紹介することができました。5月31日から6月1日にかけて開催された「第1回フィリピン国際リバーサミット」において、日本の代表的河川に関する環境学習の取組として紹介しました。参加者から河川環境の改善に対する、市民の参加意識を高める分かりやすい事例として高く評価していただきました。

地産地消特集 れすとらん さいとう

徐々に定着しつつある“地産地消”というキーワード。都市型農業の盛んな港北区で、地元の農産物をふんだんに取り入れた料理を提供し、今注目を集めている「れすとらん さいとう」のオーナーシェフの齊藤良治さん取材しました。

全てのメニューに地元の食材を

「れすとらん さいとう」では全てのメニューに地元の食材を取り入れています。野菜や果物のほとんどは、港北区を始めとする地元の農家や都筑区にあるJA横浜の農産物直売所「メルカートきた」に直接出向いて仕入れたものを使っています。

仕入れる農家は当初は知り合いを通じて紹介してもらっていましたが、次第に自ら買い求めに出向くようになったそうです。

「祖父の代まで農家だったので、採れたての野菜を小さいころから食べていて、それが普通でした。今は地産地消がもてはやされていますが、自分にとっては当たり前のこと、普通のことという感覚なので、特別なことをやっているとは思っていません。」と齊藤さん。

旬を追ってメニューを作っているため、ランチはだいたい3週間ごとにメニューを変える必要が出てきます。ただし、農産物はその年の天候にも左右されるため、頻りに農家の方に収穫時期などを聞いて、メニューを決めています。また、横浜の農業が多品種少量生産であり、野菜のバリエーションが多いので、畑に行ってみると、色んなアイデアが生まれてくるそうです。

食の大切さに気付き、料理の道へ

旬を大切に、その時にもっともおいしい食材で料理を提供することを心掛けている齊藤さん。しかし、意外にも「食の大切さ」に気付いたのは10年ほど前。レストランを開業する前は出版社に勤められていたが、忙しさとストレスで体を壊してしまったそうです。「出版社時代



地産地消でエコマーケット♪

高田地域ケアプラザにて地元農産物の直売が行われます。
日程 ①11月30日(金) ②12月7日(金) ※雨天の場合は中止します。



は机でコンビニのおにぎりをかじるだけの食事で済ませることも多く、おいしく食べることを忘れてしまっていました。「体を壊したことで、味に敏感になり、改めて自然の味はおいしいということに気づきました。」と齊藤さん。「食べることは人間の基本。『おいしい=しあわせ』ということを伝えたいと料理の道への転身を決意されました。

子どもたちに伝えたい

「食の大切さ」を知り、料理への道に進むことになった齊藤さん。「食の大切さ」を子どもたちに伝えたいと3年前から親子での食育の教室を始められています。「子どもたちの反応は鋭いので楽しいです。子どもたちの味覚はとても鋭敏で、おいしいものがわかるんですね。」と手応えを感じています。食育教室には当日使う食材を作った農家の方に来てもらい、野菜や果物について説明してもらったり、子どもたちが自ら調理し、親は見ているだけにしたりと子どもたちに食べることへの関心を高めてもらう工夫をされています。

目標

れすとらん さいとうは今年で開店から7年目。「来店していただいたお客様に“味の驚き”を感じてもらえる料理を提供していきたい」という齊藤さん。今後の目標を「今後は食をトータルで考えていきたいですね。お店の近くに畑があるキッチンガーデンをやりたいと思っています。そうすれば、お店でも使えて、食育教室で子どもたちが自ら育てた野菜を食べてもらうこともできますから。」と考えています。様々な取組を企画し、実施している齊藤さん。地産地消と食育を広げるための取組も継続的に行っていきたいと考えられています。

れすとらん さいとう

港北区菊名6-13-41 ラピス菊名1F
Tel & Fax 045-434-1761
http://www.restaurantsaito.com/



時間 午前11時から1時間程度 ※予定(売切しだい終了)
場所 高田地域ケアプラザ玄関前(港北区高田西2-14-6)
※駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。
問合せ 港北区区政推進課企画調整係 TEL045-540-2230

TOPICS

今年も盛り上がりました! 緑のカーテン

気軽に始められ、夏の暑さを和らげることができる緑のカーテン。街中でも取り組んでいるお家をよく見かけるようになりました。小学校や地区センターなどの区内公共施設でも、昨年を上回る46の施設で緑のカーテンづくりに取り組みました。各施設の今年取り組むについては、港北区役所のホームページで順次公開予定です。8月の猛暑日、表面温度の違いが分かるサーモカメラで撮影。温度差が5度以上になるところもありました。



緑のカーテン(左)をサーモカメラで撮影(右)



金環日食 太陽のリングが見えた!

5月21日、日本列島の多くの場所で金環日食が観測されました。港北区は当日はあいにくの曇空でしたが、雲の切れ間から金環日食を観測することができました。金環日食当日までもイベントとして、区内各地で様々なイベントが催されました。慶應義塾日吉キャンパスでは、慶應義塾大学天文研究会顧問の早見均教授による観察講習会など、安全な観察方法の周知を行うイベントを開催しました。トレッサ横浜で行われたモバイルプラネタリウムは整理券が配布開始から10分不足でなくなるなど大盛況でした。



モバイルプラネタリウムのドーム

区長のふれあいトークが開催されました!

港北区役所4階の屋上庭園を管理している「屋上緑化グリーンサポーター」の方々と、地域の身近な緑や花をつくり育てる市民団体「よこはま緑の推進団体港北区連絡会」の方々と「区長のふれあいトーク」が行われました。屋上緑化グリーンサポーターの皆さんには長年に渡る活動内容や日ごろの手入れなどについて、お話いただきました。また、よこはま緑の推進団体港北区連絡会の皆さんには、区内の様々なところにある花壇や公園など8か所の活動拠点を案内いただき、そこに関わる方々の思いなどについてお話いただきました。



屋上緑化グリーンサポーター(場所:港北区役所屋上庭園)



よこはま緑の推進団体港北区連絡会による現地案内の様子(場所:綱島商店街バデュ通り・円形花壇)

高田東小にグリーンキーパーがやってきた!

6月28日に高田東小学校で日産スタジアムのグリーンキーパーの方による芝生の管理方法の講習が行われました。高田東小学校は校庭一面がとても美しい芝生で覆われています。その芝をより良いものにしていくため、先生方や用務員の方に芝生の生育の特徴から水の撒き方、芝刈り機の使い方まで、グリーンキーパーならではの的確なアドバイスをいただきました。参加者からは「こちらの質問にもとても丁寧にご回答いただき、大変ためになりました」と大好評でした。※この事業は横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)による校庭・園庭の芝生化の推進の一環として行われています。



グリーンキーパー(中央)と講習を受ける学校職員

港北エコアクション2年目がスタート!

5月17日(木)に港北エコアクション推進本部総会が開催されました。長年にわたり地域において「ヨコハマ3R夢プラン」ならびに清潔できれいな街づくりにご尽力された方々の表彰が行われ、小川港北区長からお一人お一人に表彰状が贈られました。また、取組紹介では東京ガス横浜支店の方が燃料電池の仕組みを実験を交えながらわかりやすく解説し、会場の参加者から注目を集めていました。



港北エコアクション推進本部メンバー

- 日吉地区連合町内会
- 綱島地区連合自治会
- 大曽根自治連合会
- 榎町連合町内会
- 菊名地区連合町内会
- 師岡地区連合町内会
- 太尾地区連合町内会
- 篠原地区連合自治会
- 城郷地区連合町内会
- 新羽町連合町内会
- 新吉田連合町内会
- 新吉田あすなろ連合町内会
- 高田町連合町内会
- 港北区環境事業推進委員 連絡協議会
- 港北区消費生活推進員
- 港北区青少年指導員協議会
- 港北区老人クラブ連合会
- 港北区PTA連絡協議会
- よこはま緑の推進団体港北区連絡会
- 綱島市民の森愛護会
- 熊野神社市民の森愛護会
- 港北安全運転管理者会
- 港北区商店街連合会
- 横浜北工業会
- 港北区食品衛生協会
- 横浜市資源リサイクル事業共同組合
- 横浜農業協同組合
- よこはま港北ビル環境協議会
- 東海旅客鉄道株式会社
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 東京急行電鉄株式会社
- 東急バス株式会社
- 東京電力株式会社鶴見支店
- 東京ガス株式会社横浜支店
- 日産スタジアム
- トレッサ横浜
- 株式会社横浜アリーナ
- 慶應義塾日吉キャンパス
- 小学校長会代表
- 中学校長会代表
- 交通局自動車本部港北営業所
- 交通局高速鉄道本部駅務管理所新横浜管区
- 水道局 港北・都筑地域サービスセンター
- 環境創造局 港北水再生センター
- 港北区役所

平成24年度港北エコアクション3R夢行動および清潔できれいな街づくり推進功労者

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 牧 忠範 | 浅井 廣 | 大豆戸町内会長 篠崎 元彦 |
| 竹生 壽夫 | 関 治美 | 師岡表谷町内会長 金子 清行 |
| 山形 富造 | 千葉 晃一 | 太尾西町内会長 志村 清治 |
| 本橋 孝 | 栗原 茂夫 | 小机大塚つき会代表 大津 久夫 |
| 佐藤 建二 | | (敬称略、順不同) |